石津小学校 教育目標

「豊かな人間性と強い連帯感を持ち、自主的に考え、何事もやり通せる児童」

《求める児童像》

いつも明るく元気な子	体育	遅しく生きる子
しっかり考え行動する子	知育	自分から進んで考える子
つよい友情支えあう子	徳育	友達と仲良く協力し合う子

創立以来「知・徳・体」を石津小の「いしつ」から始まるこの言葉を児童のめざす目標として自主的に活動できることを願っている。

石津小学校 教育方針

- ① 過去の良き伝統を守ると共に、新しい時代に即した教育を推進する。
- ② より健やかで、心身ともに、調和のとれた児童の育成に向け、家庭・地域社会・近隣小中学校との連携を深める。
- ③ 人権尊重の教育を推進し、一人ひとりの児童に適した教育の実践に励む。また、「いじめ」「不登校」等の課題には全職員の共通理解の下に取り組みを進める。
- ④ 本校の特色である「異学年集団活動」を最大限に活用し、児童一人ひとりにき届いた教育の具現化に励む。
- ⑤ 教職員が活性化する「明るい職場」づくりを進める。又、教育者としての使命を自覚し、規範意識を高め、研修に励み、指導力の向上に努める。
- ⑥ 近年の大災害の教訓に学び、災害等緊急の事態に備えて、充実した防災計画の下に、定期的な防災訓練を実施し、防災意識の定着を図る。また、児童の安全を守るため、地域・家庭とも連携して、安全・安心な学校づくりを推進する。

特色ある教育活動

◎キャリア教育

「誰とでも、どんな場面においても協働できる子ども」をめざす

- (1) 豊かな人間性・豊かな感性を育てる
 - 異年齢集団の充実（なかよし班活動）
 - 自然環境との共生
 - 多様な人材活用

(2) 確かな学力向上のための学校づくり 小中一貫教育の推進(9年間を見据えた教育)

- 国語・豊かな感性の育成
 - ・読解力の向上
 - ・「伝える力、伝え合う力」コミュニケーション能力の育成
 - ・MIM の活用
- 読書活動の推進
 - ・豊かな感性の育成
 - ・読解力の向上
- 算数・確かな学力の習得をめざした指導内容・指導方法の工夫・改善
 - ・効果的な授業形態の研究(専科指導・習熟度別少人数指導・TT 指導)
 - ・ICT 活用授業
- 国際コミュニケーション能力の育成
 - ・「国際コミュニケーション科」の効果的な実践(研究と実践)
 - ・小中一貫教育の推進
 - ・9年間の系統的な教育の創造
 - ・国際理解教育の推進
- 生活指導の推進
 - ・基本的な生活習慣の涵養
 - ・効果的な学習姿勢と集団づくり